

ハイデルベルク信仰問答より

問 53 「聖霊」について、あなたは何を信じていますか。

答え 第一に、父と子とともに、聖霊もまた、永遠の神であるということ（創世 1:1-2、ヨハネ 4:24）。第二に、神の御霊がまた、私に与えられ（マタイ 28:19、I コリント 3:16）、信仰によって、私に、キリストとすべての益を共有できるように備えてくださり（I コリント 6:17, 19）、私を慰め（使徒 9:31）、永遠に私と共にいてくださる（ヨハネ 14:16）ことを信じるのであります。

問 53～58 では、使徒信条の「我は聖霊を信ず」が深掘りされ、聖霊論が扱われています。父なる神、子なる神に較べ、聖霊は多くの人にとって理解しにくい存在であるかもしれません。私自身も子どもの頃、父親に「聖霊って何ですか」と質問したことがあります。そのとき父親は「私たちの生活に最も密接に関わってくださっているお方だよ」と答えていました。その後およそ 30 年に亘って聖霊について考え探求してきましたが、実感として理解できた部分と、知識として理解できた部分の両面があります。

まず『聖霊』について、あなたは何を信じていますか」という問いについて考えてみましょう。ここでは、キリスト者が聖霊について何がしかを信じているはずであることが前提されています。もし聖霊を知らないのであれば本来知るべきなのであり、知ることができるはずのお方であるということです。著者は敢えて、聖霊について読者に考えさせようとしています。

答えの部分は二つの内容でまとめられています。

- ①優劣なき三位一体内の関係性
- ②信者に対する聖霊の御業

#### ①優劣なき三位一体内の関係性

聖霊論における第一に重要なポイントは、父・子・聖霊の三位一体なる神の関係性において、三者が同格であるということです。子は父に従うという意味において、一見劣勢に見えなくもありませんが、これは両者の愛の関係における秩序の現れであり、父は御心を示し、子はそれに従うという、いずれも積極的な愛の表現なのです。そして、聖霊は両者の一糸乱れぬ関係を常に結ぶ役割を果たしています。「父なる神様」「イエス様」「聖霊なる神様」と、この中の誰に対しても祈ることができる。他ならぬ神ご自身です。「永遠の神」という表現から、天地万物が創造される前から三者が共に存在していたという意味が窺えるでしょう。

## ②信者に対する聖霊の御業

第二に重要なポイントは、この「永遠の神」である聖霊が私たちに対して何をなして下さっているかです。ここでは三つのポイントでまとめられています。

### (1) 神の御霊がまた、私に与えられ

原文の訳し方によっては、「また」を「私」にかけることができます。そのように読むと「神の御霊が私にも与えられ」となり、意味が通りやすくなるでしょう。聖霊は誰か特定の人だけに与えられたのではなかった。確かに、際立った聖霊の賜物を受ける人もいますが（異言や癒しなどの特殊な能力）、「聖霊が与えられる」という事柄はもっと根源的なところで人の内に臨在される「内住の御霊」のことが言われているようです。私たちに悔い改めと信仰を与え、それを告白できるように導き、「永遠に共にいてくださる」方であるということ。そして、この事実が少しずつ実感していけるように、私たちの人格を内側から造り変え、喜びと平安を増し加えてくださいます。

### (2) 私に、キリストとすべての益を共有できるように備えてくださり

ここで例によって「益」が登場しますが、「キリストと共有できる何か」であるということは、おそらく神の国の相続について言われているのでしょう。本来主イエスだけが受け継ぐことのできる神の国の祝福が私たちにも分け与えられる。父なる神様に「子」として愛され、神の国の王子／王女としての特別な扱いをされるのです。この立場にある者たちの役割は、地を神の目的に従って管理していくことであり、万物を「神のもの」として「キリストと同じ心で」愛することです。それらすべてが私たちに与えられているからです。

### (3) 私を慰め、永遠に私と共にいてくださる

最後に「慰め」という、問1に出てきた本書の原点に立ち返ります。念のため振り返っておきましょう。

問1 生きている時も、死ぬ時も、あなたの唯一の慰めは何ですか。

答え 生きている時も、死ぬ時も、身も魂も私自身のもではなく、私の信頼する救い主イエス・キリストのものであるということでありませう。

聖霊は私たちにまことの慰めを与えてくださる。「慰め」とは、「私たちが最終的に依り頼むもの」「この人生で一番大切なもの」です。それが何であるかを心の奥底に教えてくださる方、それが聖霊の働きです。私たちが如何に困難な状況下に置かれたとしても、主イエスの救いがあるから希望は失われることがない。主イエスが共におられること（インマヌエル）が聖霊の内住によって実現している。そのことを「慰め」と呼んでいるのです。